

令和6年度歯科診療報酬改定「歯初診・口管強・外感染・外安全・歯援診」届け出対応

# 近未来歯科医療の根幹となる口腔機能管理 「食べる解剖」も学べる「質の高い在宅歯科医療」 実践セミナー / 健口管理士認定セミナー

今年度のセミナーは、口腔機能低下に伴う摂食嚥下障害と栄養管理について、最新の情報に加え、診療報酬の改定を踏まえ新たな施設基準に対応するものとし、また当該患者は在宅にその需要が多いことを踏まえ、訪問歯科診療の留意点を加味いたしました。具体的には、①ベーシックコース（Webのみ）、②セカンドコース（対面・実習有り）、更に先生方からご希望が多く寄せられた、③症例から学ぶコース（Web・対面）、の3つのコースを設けました。①、②、はこれまでと同様な形式ですが、③は、臨床で遭遇する症例をもとに基礎からその対応について学ぶもので、座学に加え、症例を用いた問題解決型のセミナーといたします。具体的には、提示された症例について説明し、課題について協議するという臨床の現場に即した内容にするともに、ご自身の経験、あるいは症例についても検討する場といたします。先生ご自身のステップアップに繋げ、明日の診療に生かしていただければ幸いです。

## ベーシックコース

全9講座

「口腔機能低下に伴う摂食嚥下障害と栄養管理について学ぶ」他

2024年10月中旬～  
3ヶ月間WEBオンデマンド配信

申込期間 9月13日～12月20日

## セカンドコース

嚥下内視鏡セミナー

「摂食嚥下障害の評価と訓練を学ぶ」他

2025年 9:00～12:00 講義  
1月12日(日) 12:00～13:00 昼休み  
13:00～15:00 実習  
集合型研修 (WEB配信なし)

開催場所 東京科学大学歯学部  
(旧 東京医科歯科大学)

定員 30名

申込期間 9月13日～12月20日

## 症例から学ぶコース

6か月コース

「症例から学ぶ摂食嚥下障害とその対応について」他

2025年2月～  
3ヶ月間WEBオンデマンド配信  
2月中旬～参加型対面 (2か月に1回)  
18:00～20:00

開催場所 東京駅周辺予定

定員 30名

申込期間 9月13日～12月20日

## 講師陣

岩淵 博史 先生  
国際医療福祉大学  
病院歯科口腔外科 教授

阿部 伸一 先生  
東京歯科大学解剖学講座  
主任 教授

長澤 祐季 先生  
東京医科歯科大学 摂食嚥下  
リハビリテーション科 医員

石井 良昌 先生  
日本大学松戸歯学部口腔外科学講座教授  
日本歯科大学生命歯学部客員教授

石垣 佳希 先生  
日本歯科大学附属病院口腔外科 教授

小笠原 健文 先生  
町田市民病院歯科口腔外科部長  
日本歯科大学生命歯学部客員教授

受講対象者 歯科医師、歯科医療従事者

受講料 (税込) 今回入会して戴ければ、  
(入会金 2,000円 年会費 3,000円) 会員価格になります。

## ベーシックコース

歯科医師 会員 15,000円 非会員 20,000円  
歯科医療従事者 会員 7,500円 非会員 10,000円

## セカンドコース (ベーシックコース受講者)

歯科医師 会員 35,000円 非会員 45,000円  
歯科医療従事者 会員 15,000円 非会員 20,000円  
歯科医師同行の場合 会員 13,000円 非会員 15,000円

## セカンドコース (ベーシックコース非受講者)

歯科医師 会員 50,000円 非会員 60,000円  
歯科医療従事者 会員 25,000円 非会員 30,000円  
歯科医師同行の場合 会員 20,000円 非会員 25,000円

## 症例から学ぶコース

(会員、かつセミナー全てのコース受講者)

歯科医師 会員 30,000円  
歯科医療従事者 会員 10,000円 (歯科医師の同行者に限る)

## 申込方法

研修内容の詳細、お申込みは  
こちらから ➡

プログラムは裏面へ >



主催



NPO 日本・アジア健康科学支援機構  
〒115-0055 東京都北区赤羽西 6-31-5 (株)学術社内

TEL : 03-5924-1233 FAX : 03-5924-4388

# プログラム

## ベーシックコース

### 「口腔機能低下に伴う摂食嚥下障害と栄養管理について学ぶ」

1. 摂食嚥下障害患者に必要な基礎を学ぶ (50分 / 1講座)  
一食を食べることを理解するために必要な解剖学—
2. 摂食嚥下障害診療における感染対策 (40分 / 2講座)  
① 歯科外来診療の院内感染防止対策 (標準予防策及び新興感染症に対する対策) に関する研修 歯初診  
② 感染経路別予防策 (個人防護衣の着脱法等を含む) 及び最新の新型インフルエンザ等感染症等を含む感染症に係る対策・発生動向等に関する研修 外感染2
3. 摂食嚥下障害診療における救急対応 (40分 / 2講座)  
① 偶発症に対する緊急時の対応、医療事故対策等の医療安全対策に関する研修 (放射線防護含む) 外安全・歯援助診・口管強  
② 高齢者の心身の特性に関する研修 歯援助診・口管強
4. 摂食嚥下障害患者における歯科疾患重症化予防 (40分 / 1講座)  
歯科疾患の重症化予防に係る継続管理 (エナメル質初期う蝕管理・根面う蝕管理・口腔機能の管理に関する内容を含む) に関する研修 口管強
5. 訪問在宅管理 (40分 / 2講座)  
① 認知症に関する研修 (認知症対応向上研修の基礎編に準じた内容を含む) 歯援助診・口管強  
② 在宅医療・介護等に関する研修 口管強
6. 口腔機能管理 (50分 / 1講座)  
口腔機能の継続管理に関する研修  
継続した口腔機能管理から栄養管理を学ぶ 歯援助診・口管強

## セカンドコース

### 「摂食嚥下障害の評価と訓練を学ぶ」 (含む、摂食嚥下障害患者の嚥下内視鏡検査)

1. 摂食嚥下障害総論 (40分)
2. 摂食嚥下障害の評価方法について (20分)  
(問診・反復唾液嚥下テスト・フードテスト・頸部聴診法)
3. 嚥下内視鏡検査の実際と所見評価を学ぶ (30分)
4. 嚥下内視鏡検査のリスクと合併症を知る (10分)
5. 摂食嚥下訓練について (20分)

#### 実習

1. 嚥下内視鏡検査の基礎 (模型実技・洗浄方法)  
内視鏡検査の基礎について模型実習を通して学ぶ
2. 嚥下内視鏡検査の実技研修 (歯科医師のみ)  
相互実技研修で嚥下内視鏡の実際を学ぶ

## 症例から学ぶコース

### 「症例から学ぶ摂食嚥下障害とその対応について」 (含む、在宅診療時における対応)

日常の臨床で遭遇した診断や処置に苦慮した症例を通して、摂食嚥下障害に対する対応の精度を高めることを目的として実施いたします。

1. 高齢有病者の診察時における注意点と多職種との関わり方 (Web)
2. 在宅診療時における留意すべき事項  
- 最新情報について - (Web)
3. 症例検討 (対面)  
① 施設でのミールラウンド対応  
② 会員からの症例提示とディスカッション



(NPO) 日本・アジア健康科学支援機構認定  
健口管理士とは？

